



病児・病後児保育施設すとくです。
より当施設を知っていただけるよう、すとくのおおまかな1日をご紹介します！

入室時

保護者より子どもたちの情報を聞かせていただきます。

初利用や久々の利用で笑顔よりも無表情・泣き顔が多く見られます。

指導医による診察

利用児が全員揃ったら指導医が来所し、保育士に抱かれながら診察してもらいます。

子どもたちがリラックスできるように指導医は身近な話題で和ませて下さいます。

おやつ

持参したおやつをいただきます。
(症状によって食べられない場合は水分補給のみ)

検温・水分補給

遊んでいる最中でも子どもたちの症状に合わせてこまめに検温や水分補給を行っています。

状態観察

主に状態がよくない場合やお昼寝起きに看護師が子どもの症状に合わせた観察をしています。(聴診や酸素飽和度測定等)

子どもの小さな体調変化を見逃さず、何かあれば医師と連携を取っています。

午前と午後の活動(遊び)

当施設は医師連絡票(病名や隔離指示等)に沿ってお部屋割りを行っています。

入室後からお迎えまで自分の好きな遊びを楽しみます。
小学生のお友だちは勉強道具を持参し、自分のペースで宿題に取り組むカッコイイ姿も見られています。

状態が悪い・悪化している場合は無理に遊ばせようせず、様子を見ながら体を横にしたり、クーリングを行ったり等、安静を重視した保育を実施します。

子どもの症状や状態に合わせて持参された坐薬や吸入を保護者依頼の下、指導医の指示に従って使用し、様子を見る場合もあります。



消毒掃除

★すとくでは月に1回避難訓練と緊急時対応訓練を実施し、利用される方が安心・安全に利用できるよう努めています。
また、使用したお部屋や玩具等は毎日消毒掃除を行っています。



緊急時対応訓練



避難訓練



病児・病後児保育施設 すとく

お昼ごはん

持参したお弁当を「食べられるものを食べられるだけ」食べます。

食べられない場合は時間をずらす、水分補給のみにする等個々に合わせています。

投薬

医療機関で処方されたお昼分の薬を保護者依頼の下、投薬します。
(お薬手帳と薬剤情報がないと投薬はお受けできません)

口に直接入れる、スプーンで溶かす等、個々に合わせた投薬方法をします。

※情報があれば点眼薬や点鼻薬、塗布薬もお受けできます。

お昼寝(休息)

慣れない環境に加え、体調不良でのご利用の為、なかなか寝れない子どももいます。
子どもたちの身体にかかる負担を少しでも軽減できるように**全員必ずお昼寝(休息)**を実施しています。

癒しの音楽をかけ、個々に合わせておんぶや抱っこ、トントンしています。

お迎え(退室時)

一日の様子(主に体調面を中心に)を保育記録に沿ってお伝えし、保育記録をお渡しします。

お迎えの頃には多くの子どもからはとびきりの笑顔が見られています。